



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月11日

上場会社名 のむら産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 悦男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西澤 賢治

TEL 042 (497) 6191

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績（2025年11月1日～2026年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	6,040	17.8	834	50.5	835	50.5	590	59.0
2025年10月期第3四半期	5,129	7.4	554	38.9	555	38.0	371	43.9

(注) 包括利益 2026年10月期第3四半期 601百万円 (59.8%) 2025年10月期第3四半期 376百万円 (45.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	446.72	—
2025年10月期第3四半期	280.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	5,479	2,833	51.0
2025年10月期	4,910	2,349	47.3

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 2,794百万円 2025年10月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	89.00	89.00
2026年10月期	—	0.00	—		
2026年10月期（予想）				122.00	122.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,792	9.6	958	27.2	960	27.4	698	37.4	528.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年10月期 3 Q	1,391,575株	2025年10月期	1,391,575株
② 期末自己株式数	2026年10月期 3 Q	69,351株	2025年10月期	69,307株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年10月期 3 Q	1,322,251株	2025年10月期 3 Q	1,322,284株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年11月1日～2026年7月31日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の継続や不安定な為替変動に加え、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりなどから、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下におきまして、当社グループは、企業理念にある「人に優しい新技術」をモットーに、きめ細かいサービスを継続すること、また、企業活動を通じた社会貢献に努め、安定した経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は60億40百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は8億34百万円（前年同期比50.5%増）、経常利益は8億35百万円（前年同期比50.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億90百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（包装関連事業）

包装関連事業につきましては、主要取引先であるコメ流通業界において、コメ価格の高止まりが続くなか、消費者の購買意欲が依然として低調であることに加え、2025年産の原料用玄米の取引や流通にも停滞感が見られるなど、市場環境は不安定な状況で推移いたしました。

一方、資材原料価格につきましては、中東情勢の影響などを背景とした価格上昇が続くなか、販売価格への適切な転嫁に努めてまいりました。また、機械関連においては、期初計画に沿った受注を確保するとともに、納品状況についても概ね計画どおりに推移したことから、着実な収益確保につなげることができました。

その結果、包装関連事業の売上高は53億31百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は7億56百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、物流業界における働き方改革の進展やガソリン価格の高騰などを背景として、物流コストの高止まりが続くなど、事業環境は依然として不安定な状況で推移いたしました。一方、ネット通販関連の需要は底堅く推移しており、積極的な提案型営業に注力し、売上高は概ね計画どおりに推移いたしました。

その結果、物流梱包事業の売上高は7億9百万円（前年同期比3.3%増）となり、セグメント利益は77百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億76百万円増加し、45億7百万円（前連結会計年度末比14.7%増）となりました。これは主に、四半期純利益の獲得等により現金及び預金が増加したこと、及び、売上高の伸長により売上債権が増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、9億71百万円（前連結会計年度末比0.8%減）となりました。これは主に、減価償却により有形固定資産が減少したこと等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ5億68百万円増加し、54億79百万円（前連結会計年度末比11.6%増）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、25億72百万円（前連結会計年度末比3.5%増）となりました。これは主に、売上の伸長に伴う仕入の増加により仕入債務が増加したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、72百万円（前連結会計年度末比1.7%減）となりました。これは主に、退職給付に係る負債が増加した一方で、流動負債への振替によりリース債務が減少したこと等によるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、26億45百万円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億84百万円増加し、28億33百万円（前連結会計年度末比20.6%増）となりました。これは主に、株主配当により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が獲得できたこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年12月12日付「2025年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年10月期 通期連結業績予想並びに通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,428	2,506,881
受取手形、売掛金及び契約資産	787,262	1,021,497
電子記録債権	206,048	180,862
商品及び製品	163,717	228,113
仕掛品	356,581	399,672
原材料及び貯蔵品	133,221	132,733
その他	16,207	38,224
貸倒引当金	△284	△356
流動資産合計	3,931,182	4,507,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	470,871	480,981
減価償却累計額	△214,345	△222,471
建物及び構築物（純額）	256,525	258,510
機械装置及び運搬具	73,949	74,276
減価償却累計額	△29,055	△36,288
機械装置及び運搬具（純額）	44,894	37,987
土地	400,435	400,435
リース資産	63,223	55,295
減価償却累計額	△36,542	△35,416
リース資産（純額）	26,680	19,879
その他	60,458	73,446
減価償却累計額	△27,921	△36,346
その他（純額）	32,536	37,100
有形固定資産合計	761,072	753,913
無形固定資産	5,353	3,510
投資その他の資産		
投資有価証券	134,608	133,588
繰延税金資産	49,714	50,284
その他	29,100	30,515
貸倒引当金	△419	△118
投資その他の資産合計	213,003	214,270
固定資産合計	979,430	971,694
資産合計	4,910,612	5,479,324

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,608	646,084
電子記録債務	1,588,001	1,473,624
リース債務	11,264	10,096
未払法人税等	175,300	133,487
賞与引当金	65,520	47,792
製品保証引当金	9,087	8,541
その他	203,253	253,371
流動負債合計	2,487,035	2,572,998
固定負債		
リース債務	22,376	14,924
退職給付に係る負債	24,505	30,535
資産除去債務	26,769	26,904
固定負債合計	73,651	72,364
負債合計	2,560,687	2,645,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	2,276,408	2,749,407
自己株式	△67,831	△68,009
株主資本合計	2,288,577	2,761,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,253	33,589
その他の包括利益累計額合計	34,253	33,589
非支配株主持分	27,094	38,974
純資産合計	2,349,925	2,833,961
負債純資産合計	4,910,612	5,479,324

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年7月31日）
売上高	5,129,695	6,040,623
売上原価	3,747,496	4,327,604
売上総利益	1,382,199	1,713,019
販売費及び一般管理費	828,091	878,971
営業利益	554,107	834,048
営業外収益		
受取利息	96	346
受取配当金	434	547
受取保険金	543	1,087
補助金収入	26	773
その他	681	564
営業外収益合計	1,782	3,320
営業外費用		
支払利息	665	563
為替差損	77	1,657
その他	63	0
営業外費用合計	806	2,221
経常利益	555,084	835,147
税金等調整前四半期純利益	555,084	835,147
法人税等	174,694	232,587
四半期純利益	380,390	602,559
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,872	11,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,517	590,680

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年7月31日）
四半期純利益	380,390	602,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,745	△663
その他の包括利益合計	△3,745	△663
四半期包括利益	376,644	601,896
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,771	590,016
非支配株主に係る四半期包括利益	8,872	11,879

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

当社及び連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	3,025,981	—	3,025,981	—	3,025,981
包装機械関係	1,416,957	—	1,416,957	—	1,416,957
梱包資材関係	—	605,712	605,712	—	605,712
梱包機械関係	—	81,044	81,044	—	81,044
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	4,442,938	686,756	5,129,695	—	5,129,695
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,442,938	686,756	5,129,695	—	5,129,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,492	1,492	△1,492	—
計	4,442,938	688,249	5,131,188	△1,492	5,129,695
セグメント利益	500,420	53,687	554,107	—	554,107

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年11月1日 至 2026年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	3,366,749	—	3,366,749	—	3,366,749
包装機械関係	1,964,356	—	1,964,356	—	1,964,356
梱包資材関係	—	635,464	635,464	—	635,464
梱包機械関係	—	74,053	74,053	—	74,053
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	5,331,105	709,518	6,040,623	—	6,040,623
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,331,105	709,518	6,040,623	—	6,040,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	91	91	△91	—
計	5,331,105	709,609	6,040,715	△91	6,040,623
セグメント利益	756,258	77,790	834,048	—	834,048

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年7月31日）
減価償却費	31,697千円	32,773千円
のれんの償却額	14,143	—

（重要な後発事象の注記）

（連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却）

当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるパックウェル株式会社（以下、パックウェル）の当社保有株式のすべてを杭州丙甲科技有限公司（Hangzhou Bing Jia Technology Co., Ltd.）（以下、BJT）に譲渡することを決議いたしました。今後の本株式譲渡の実行に伴いまして、パックウェル及びパックウェルの子会社であるBJT JAPAN合同会社は当社の連結範囲から除外されます。

（1）株式譲渡の理由

当社グループは、経営理念として「『人に優しい新技術』をモットーに、常に使う人の身になっての商品づくりに努め、お取引先の皆様とのビジネスを通じて社会に貢献していきます」を掲げ、米穀精米袋を中心とした包装資材の企画開発・販売と米穀用自動計量包装機を中心とした計量包装機械の企画開発・製造販売からなる「包装関連事業」と「包む・埋める・封をする」といった梱包における問題を解決するための商品・サービスを提供する「物流梱包事業」により事業を展開しております。

パックウェルは、物流業界における梱包・出荷業務の自動化や半自動化を実現する機器及び資材を提供し、お客様の物流オペレーションの効率化に貢献する事業を展開してまいりました。2018年2月にのむら産業グループに参画して以降も、エア緩衝材や紙テープなどを中心とした商品・サービスを通じて、ネット通販市場の拡大を背景に着実な成長を遂げてまいりました。

一方で、当社グループにおいては、事業ポートフォリオの見直しを進める中で、グループ間における事業シナジーの創出可能性、及びパックウェルの今後の成長戦略について継続的に検討を重ねてまいりました。その結果、当社グループの経営資源を主力事業である包装関連事業に集中させることが、グループ全体の企業価値向上に資するものとの結論に至りました。また、パックウェルにとっても持続的な成長を実現し、更なる企業価値向上を図るためには、同社事業との親和性が高く、当該分野における専門性や事業基盤を有するBJTのもとで成長投資を推進していくことが最適であるとの判断に至りました。

本株式譲渡は、パックウェルの中長期的な成長機会の拡大を図るとともに、当社グループにおける経営資源の最適配分及び事業ポートフォリオの最適化を推進し、グループ全体の企業価値向上に寄与するものと考えております。

（2）譲渡する相手先の名称

杭州丙甲科技有限公司（Hangzhou Bing Jia Technology Co., Ltd.）

（3）譲渡の時期

2026年10月27日（予定）

（4）譲渡する子会社の概要

- ①名 称 パックウェル株式会社
- ②事業内容 梱包資材、機械の輸入販売

（5）譲渡する株式の数、譲渡後の持分比率、譲渡価額及び譲渡損益

- ①譲渡する株式の数 26株
- ②譲渡後の持分比率 －％
- ③譲渡価額 650,000千円

なお、譲渡損益は現在精査中であります。